



岐阜県感染症発生動向調査週報

Gifu Infectious Diseases Weekly Report

令和元年 10月4日 岐阜県感染症情報センター（岐阜県保健環境研究所）

2019年第39週
(9/23~9/29)

- インフルエンザは、目立った増加はみられませんが、県内の広い範囲で散発的に患者が報告されています。
- RSウイルス感染症は、前週より減少したものの、引き続き患者報告数の多い状態となっています。
- 伝染性紅斑は、患者報告数の多い状態が続いています。

■ 定点把握対象疾患の発生動向（インフルエンザ 定点:87 か所、小児科定点:53 か所、眼科定点:11 か所、基幹定点:5 か所）

● 警報・注意報レベルの保健所がある疾患

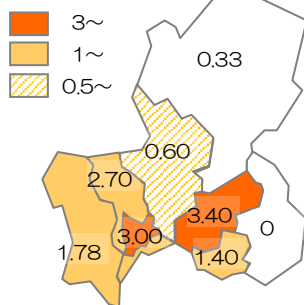
レベル	疾患名	基準	該当保健所（定点当たり報告数）
警報レベル	咽頭結膜熱	定点当たり3人以上（1人を下回るまで継続）	恵那（1.50）
	流行性角結膜炎	定点当たり8人以上（4人を下回るまで継続）	可茂（8.00）
注意報レベル	なし	—	

※定点当たり報告数が一定の基準を超えた場合、保健所単位で「警報・注意報レベル」を発信しています。

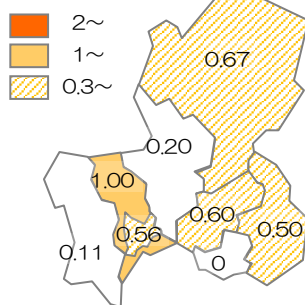
警報レベルは大きな流行が発生または継続していると疑われることを、注意報レベルは流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性が高いこと、流行の発生後であれば流行が継続していると疑われることを指します。

● 注意したい感染症の保健所別流行状況（地図中の数値は定点当たり報告数）

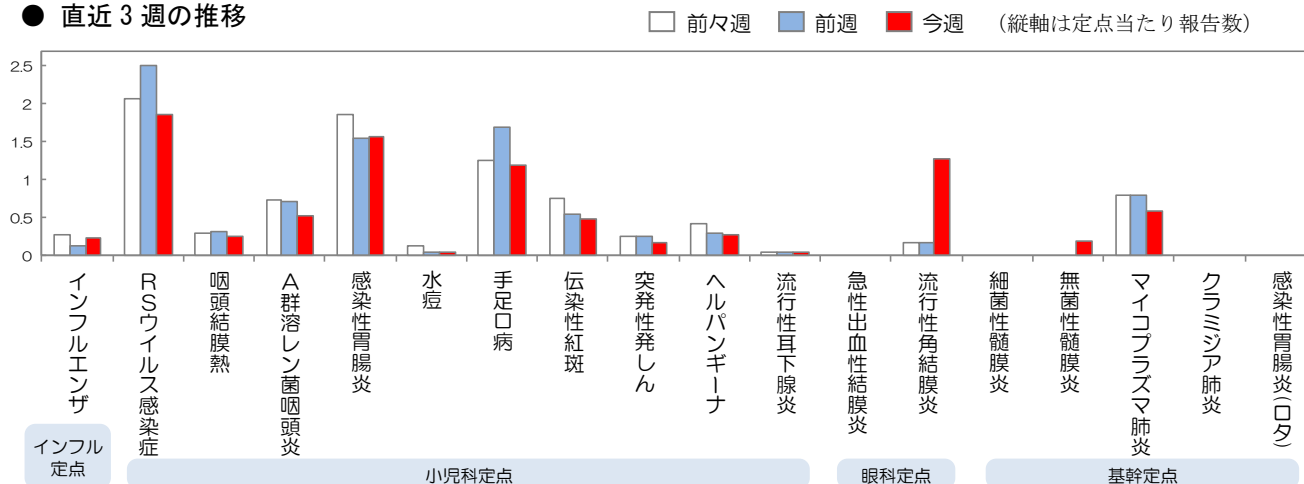
<RSウイルス感染症>



<伝染性紅斑>



● 直近3週の推移



■ 全数把握対象疾患の発生動向

● 今週届出分

- 1 類感染症：なし
- 2 類感染症：結核 9 例
- 3 類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 2 例
- 4 類感染症：A型肝炎 1 例、レジオネラ症 3 例
- 5 類感染症：カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1 例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1 例、後天性免疫不全症候群 1 例、梅毒 1 例、百日咳 7 例

全国情報は国立感染症研究所感染症疫学センターのHPをご覧ください。

感染症発生動向調査週報（IDWR） <https://www.niid.go.jp/niid/ja/idwr.html>

※今週のトピックスはありません。

岐阜県感染症情報センターHP <http://www.pref.gifu.lg.jp/kodomo/kenko/kansensho/kansensyo/>

<情報編>